

農 新・農業人 新春のつどい開催
業の仲間づくりを!

町内で農業を始めたばかり、またこれから始めるなど、いわゆる「農業の新人さん」が思いや悩みを語り、助言し合いながら農業の仲間づくりをしてほしいという目的で、1月25日に若手農家で作る「会見農村青年会議」主催の集いが緑水園で開催されました。脱サラから就農者となって1年という野口強一郎さん(福成)は「農業には自分がやっただけの答えが返ってくる楽しみがある。始まったばかりで大変だが頑張りたい」と意気込みを話し、橋谷陽史^{はしたによし}会長は「農業に携わる若手が減っているからこそ、仲間とのつながりを深めて農業を引っ張ってほしい」と話しました。



現在の思い、そして今後について話も弾みました

愛 東西町男のクッキング
情たっぷり! お味はいかが?



いつもの愛情も120%増し?!

「いつか奥さんに食べてもらい、ビックリさせたい!」と、クッキングを始めて約1年。これまでの成果を奥様に披露しようとお招待。この日のメニューは、蒸し鶏のぱりぱり焼き、きんぴらサラダなどの5品。ご主人が作った料理を前に、奥様の「すご~い! おいしそう」との声で始まった会食。

「この人参の千切りは家で練習していました」「このソースおいしい」「もっと家でも作ってほしいな~」と会話も弾み、ご主人の感謝と愛情がたっぷり込められた料理に、笑顔いっぱいの奥様でした。

こちら地域振興協議会

法勝寺地区

大国

命を繋ぐ救急救命講習会

昨年度にAEDを購入。各種体育事業や敬老会などには必ず持参し「もしも」の時に備えています。幸い使用することはないものの、いざという時に使えないようでは困るため1年に1度は講習会をするように決めています。昨年参加された人も「あら? どうだったかな~」と戸惑われる場面もあり、このような講習会は何度も繰り返す必要性があることを改めて感じました。実際に人が倒れているところに遭遇した時、それが大切な人だった時、慌てず対処できる術をひとりでも多くの方に学んでいただきたいと切に思います。



参加した皆さんの表情は真剣そのもの

おいしい交流いかがです?

大国地域振興協議会では、1月から2月の厳寒の時期に「男の料理教室」「スイーツ教室」と食に関わる事業を実施しました。

今年の男の料理は「美味しく食べてエネルギーダウン」と題して、鶏肉のレモン焼きや昆布ときのこのさっと煮など、スイーツ教室は「親子で作ろう」をテーマに、米粉を使った抹茶のシフォンケーキ作りでした。

人は、美味しいものを食べると自然と笑顔になるそうです。次回も皆様の参加をお待ちしています!



男の料理教室(写真上)とスイーツ教室の様子

